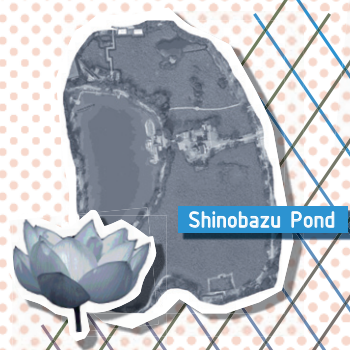


東京文化資源会議  
第8回公開シンポジウム

伊藤 滋  
今谷 秀和  
押見 守康  
隈 研吾  
中島 直人  
中村 政人  
吉見 俊哉  
小野 道生  
永野 真義



*Cultivating Ueno Square*



2018.10.1<sup>MON</sup>  
15:30▶18:00

東京大学本郷キャンパス  
情報学環 福武ホール内  
地下2階ラーニングシアター  
入場無料 | 定員150名

開かれた文化資源区——  
『上野スクエア』を構想する

# 上野スクエアとは

「スクエア」とはまちの中心にある広場、オープンスペース。様々な通りが交わり、様々な人が行き交う出会いの場所。東京文化資源区をひとつのまちとして捉えたとき、その3km圏のセンターに位置するのが上野界限。上野には美術館や博物館など豊富な施設型文化資源がありますが、それらに加えて“文化と街”“上野を南から面白くする”を合い言葉に、上野の「街」の文化資源・魅力を掘り起こすべく「不忍池」「湯島天神」「広小路・御徒町」「アーツ千代田3331」が囲むエリアを「上野スクエア」と見立て、構想を練りました。東京文化資源区の中で、多様な文化が交わり、出会い、高め合う、そんな上野界限への期待、希望、可能性を描こうとするものです。

## シンポジウム

### 15:30 主旨説明

伊藤 滋 \_\_\_\_\_ 都市計画家／東京文化資源会議会長

### 15:40 プレゼンテーション

#### 『第二次上野スクエア構想の概要』

小野 道生 \_\_\_\_\_ 都市計画設計研究所／上野スクエア構想検討委員会 PM  
永野 真義 \_\_\_\_\_ 東京大学助教／上野スクエア構想検討委員会 PM

### 16:10 パネルディスカッション

#### 『開かれた文化資源区：上野スクエアを活かす』

今谷 秀和 \_\_\_\_\_ 大丸松坂屋百貨店 未来定番研究所長  
押見 守康 \_\_\_\_\_ 湯島天満宮 宮司  
隈 研吾 \_\_\_\_\_ 建築家、東京大学教授  
中島 直人 **司会** \_\_\_\_\_ 東京大学准教授／上野スクエア構想検討委員会座長  
中村 政人 \_\_\_\_\_ 東京藝術大学教授  
吉見 俊哉 \_\_\_\_\_ 東京大学教授

### 17:50 質疑応答

### 18:00 閉会

## 懇親会

終了後 18:15 頃より、同会場内のホワイエにて、約 1 時間程度の懇親会を開催します。応募フォームによる事前申込制、会費 3000 円となります。



東京大学本郷キャンパス  
情報学環 福武ホール内  
地下 2 階  
ラーニングシアター

定員  
150 名

お申込は下記フォームより  
先着順とさせていただきます。  
お早めどうぞ。



お申込フォーム

<https://goo.gl/QbAH57>



伊藤 滋  
Shigeru ITO



今谷 秀和  
Hidekazu IMATANI



押見 守康  
Moriyasu OSHIMI



隈 研吾  
Kengo KUMA



中島 直人  
Naoto NAKAJIMA



中村 政人  
Masato NAKAMURA



吉見 俊哉  
Shunya YOSHIMI



小野 道生  
Michio ONO



永野 真義  
Masayoshi NAGANO

1931年生まれ。都市計画家。工学博士。東京大学名誉教授。2010年十の東京都心市街地像研究会会長、日本都市計画学会会長、建設省都市計画中央審議会会長、阪神・淡路復興委員会委員、内閣官房都市再生戦略チーム座長などを歴任。現在財団法人国土計画協会理事長。「東京文化資源会議」会長。

1959年生まれ。乃村工藝社、伊藤忠を経て、1990年、電通、イベント・ミュージアム等スペースメディアを手掛けた後、日本でいち早くインターネットビジネスおよびテレビとネットの融合化活動。2015年「大丸松坂屋百貨店」2017年新たな取組み「未来定番研究所」を立上げ所長に。今春、東京・谷中にある古民家を再生してオフィス。

1947年生まれ。湯島天満宮宮司。1968年國學院大學の神道研修部を卒業後、同年湯島神社権禰直、1980年に湯島神社宮司を拝命。現在は東京防犯連合会副会長、文京区商工協会会長、文京区観光協会副会長、文京区懇談会会長なども務める。2013年には監製賞を受章。

1954年生まれ。東京大学教授。20か国を超す国々で建築を設計し、国内外で様々な賞を受けている。その土地の環境、文化に溶け込む建築を目指し、ヒューマンスケールのやさしく、やわらかなデザインを提案している。また、新しい素材の探求を通じて、工業化社会の後の建築のあり方を追求している。

1976年生まれ。東京大学大学院工学系研究科准教授。博士(工学)。専門は都市計画。主な著作に『都市計画の思想と場所 日本近現代都市計画史ノート』(東京大学出版会)、『都市美運動 シグニフィカントの都市計画史』(東京大学出版会)等。2017年度より、上野スクエア構想検討委員会座長。

1963年生まれ。東京藝術大学絵画科教授。1998年「ランド」主宰。2010年より「アーツ千代田3331」(東京都千代田区)を立ち上げ、著書『美術と教育』等多数。富山県水見市をはじめ、地域再生型アート・プロジェクトを多数展開。2012年から神田のまちの創造力を高める「TRANS ARTS TOKYO」を開始。

1957年生まれ。東京大学大学院情報学環教授。社会学・文化研究・メディア研究専攻。集まりの場でのドラマ形成を考えるところから近現代日本の大衆文化と日常生活・文化政治を研究。主な著書に『都市のドラマトゥルギー』(河出文庫)、『視覚都市の地政学』(岩波書店)等、多数。

1967年生まれ。1993年より都市計画設計研究所。近年は、主に東京都区部の街区レベル・地区レベルの将来ビジョン作成や再生計画立案等に従事。共著書に『実務者のための新・都市計画マニュアル』(日本都市計画学会編、丸善)。上野スクエア構想検討委員会プロジェクトマネージャー。

1986年生まれ。東京大学大学院工学系研究科助教。専門は都市空間デザイン。2011年より「株」日本設計にて日本橋の大規模改修を担当。2016年より現職。2017年「第19回まちの活性化・都市デザイン競技」国土交通大臣賞受賞など。上野スクエア構想検討委員会プロジェクトマネージャー。